

2014年11月 地域自然情報研究会



オープンソース3Dモデリングシステム Blender の 環境分野への活用可能性

山下 敦彦 氏 (オリーブ技術士事務所 代表)

Blender は、オープンソースの3次元モデリングシステムです。3Dゲームの作成にも使われますが、大学の研究室で使われるほど汎用的な機能を備えています。例えばこのフリーウェアで、国が無償提供する5mメッシュ標高データを処理すれば、全国好きなどころのリアルな3次元モデルがあつという間に出来上がり、その上で洪水等のアニメーションを作成することもできてしまいます。私は、このシステムを使って、崖地の一連のレーザ計測データから崩壊土砂量を計算したり、崩壊土砂量に応じて色分けした崖地の3次元モデルを作成したり、崖地崩壊のモーフィングアニメーションを作ったりする業務を行いました。今回は、この Blender を中心に他のオープンソースとの連携も含めて、業務における活用事例や環境分野におけるビジュアライゼーションの可能性等をご紹介しますと思います。

開催日時

2014年11月22日(土) 14:00~16:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

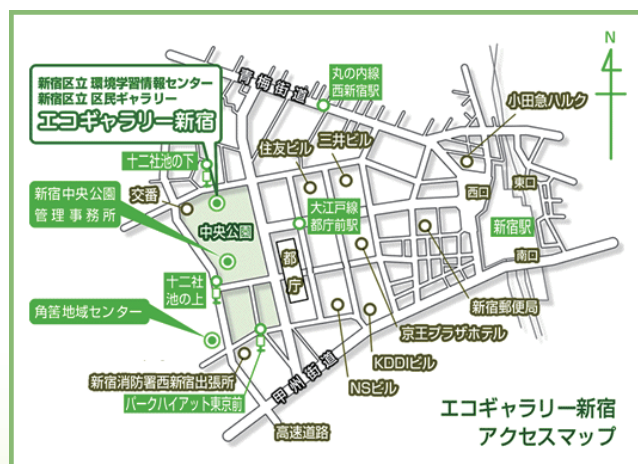
お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレス、会員種別をご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail:gcnken@gmail.com

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。



NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>